

「第四次・新潟県建設産業活性化プラン」概要版

I 策定の経緯

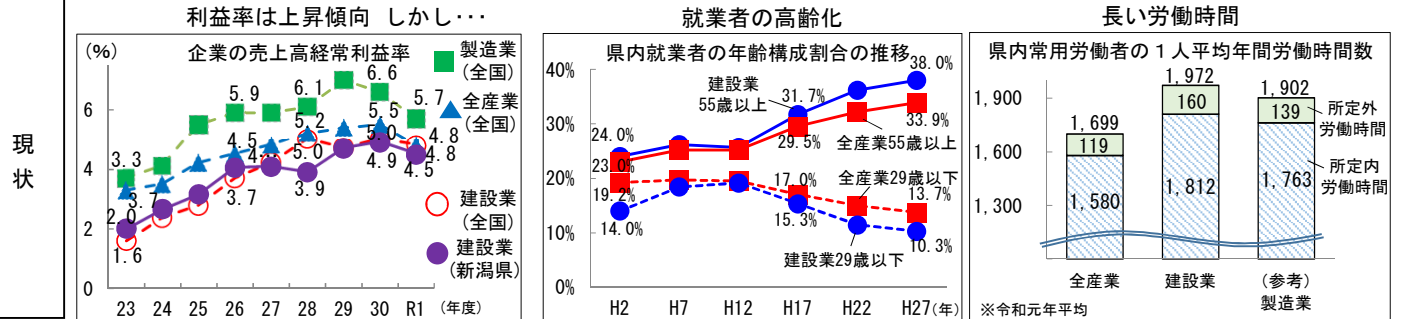
- ・県内建設産業の振興を図るため、平成18年に「建設産業活性化プラン」を策定し、以後、課題の変化等を踏まえ改訂を実施
- ・有識者の提言や建設企業意識調査等を踏まえ、「第四次・建設産業活性化プラン」を策定

II 県内建設産業の現状

求められ
る役割

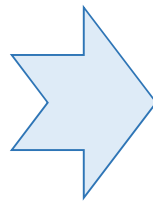
- 1 地域の安全・安心を担う産業（災害への対応、除雪への対応）
- 2 地域の暮らしを支える産業（社会基盤の整備、公共土木施設の維持管理）
- 3 地域経済・雇用を下支えする産業（地域の基幹産業として）

SDGs
達成への貢献



III 県内建設産業に関わる環境変化

- 県民の命と暮らしを守る防災・減災対策の推進
- 新・担い手3法の制定による取組の強化
- ICT導入の加速化
- 働き方改革の強化
- 社会資本の老朽化の進行
- SDGs達成への取組推進



IV 今後の重点課題

- 経営基盤の安定化
- 将来を担う人材の確保
- ICT化の加速
- 産業イメージの変革

V 目標と施策体系、VI 施策の展開

計画期間：令和3年度～令和7年度（5か年）

目標	柱	7つの施策	主な取組内容
持続可能な社会づくりに貢献する 建設産業をめざして	経営基盤の強化 ～ウイズ・ポストコロナ～	経営の安定化	<ul style="list-style-type: none"> ● 制度改正後の低入札対策の安定運用 ● 県内優先発注・県内調達維持 ● 企業ニーズを踏まえた、専門家による相談対応 ● 新分野進出の促進 ● 中山間地域における協力体制構築の促進 ● 施工時期平準化の推進 (ゼロ県債等の活用、施工時期選択可能工事制度の推進) ● 人材確保・育成を行う団体への経費支援 (建設産業の理解促進、新規入職者研修、最新技術の見学会等) ● 「週休2日取得モデル工事」の推進 (原則、全ての土木部発注工事を対象に) ● ICT活用工事の対象工種拡大、簡易型ICT活用工事の導入 ● ICT人材育成のための研修及び経費支援 ● 「Made in 新潟」登録技術のWebを活用した全国的な情報発信の推進 ● 建設リサイクルの推進
	人材の確保・育成 ～ダイバーシティの推進～	経営課題の解決支援	
	生産性の向上 ～DXの活用～	受注環境の向上	
	SDGs達成に向けた取組の推進	人材の確保・育成	
		労働環境の改善	
	ICT等の活用促進	● 建設企業におけるSDGsへの取組促進 ・ SDGs達成に向けた建設産業が果たす役割の認識共有とPR ・ 企業における取組促進のための施策検討、実施	
		新技術・新工法の活用促進等	

VII 持続可能な社会への貢献

- SDGs達成に向けた、建設産業の具体的取組例の紹介による建設産業全体の取組促進



VIII プランの進行管理

数値目標	施策項目	指標	最終目標	現状値
	1	経営の安定化	県内建設業の利益率	全国の建設業平均以上
2	経営課題の解決支援	経営支援を受けた企業の満足度	向上させる	新たにアンケート実施
3	受注環境の向上	県発注工事の平準化率	0.90以上を達成	0.88 (全国2位)
4	人材の確保・育成	県内建設業の常用労働者数	65,200人以上 (減少幅を縮減)	65,809人
5	労働環境の改善	県内建設業の労働時間	1,900時間以下 (製造業並の労働時間)	1,972時間
6	ICT等の活用促進	企業におけるICTの活用状況	50%以上※①3次元測量、②ICT建機施工	①14.7%②15.8%
7	新技術・新工法の活用促進等	Made in 新潟に係る登録技術の販売実績	184億円以上 (年率5%増加)	144億円

施策の
評価
の
進
行

- 施策の進捗管理や改善のため、外部有識者による評価を実施
- 令和5年度に中間評価を、令和7年度に最終評価を実施予定

